

平成20年度	施設名(愛称名)	大沢市営住宅駐車場	番号	76
--------	----------	-----------	----	----

平成20年度

施設評価調書

施設の名称.....大沢市営住宅駐車場

所管担当課.....建設課

平成20年7月

平成20年度	施設名(愛称名)	大沢市営住宅駐車場	番号	76
--------	----------	-----------	----	----

施設の概要

1 施設名 (愛称名)	大沢市営住宅駐車場		2 担当課 担当係	建設課 都市住宅係		
3 所在地	下田市大沢16番地の1		4 設置年月	平成9年1月1日		
5 総合計画の 位置付け	ヒト・モノ・コトの豊かな 交流づくり		身近な生活環境づくり		住宅	
	施 策 体 系		住宅の供給		市営住宅の整備	
	主 要 事 業		市営住宅建設事業&管理運営		市営住宅の管理運営	
6 設置目的	住宅に困窮する低所得者に対して低廉な家賃で賃貸し市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与する。					
7 設置根拠	下田市営住宅条例					
8 施設の概要	施設の概要		駐車場面積 810.5㎡			
			駐車区画数 37台(1台分建設課利用)			
	実施事業 の概要					
	料金体系	料金区分	1区画当たり 月額1台3,000円			
		主 な 料 金	(使用料) 第51条 駐車場の使用料の額は、別表第2のとおりとする。 2 市長は、前項の規定にかかわらず特別の事情がある場合において必要があると認めるときは、使用料の減免又は徴収の猶予をすることができる。			
			別表第2(第51条関係)			
				共同施設の名称	使用料(1区画当たり、月額)	
			大沢市営住宅駐車場	3,000円		
	減免内容	(使用料) 第51条 駐車場の使用料の額は、別表第2のとおりとする。 2 市長は、前項の規定にかかわらず特別の事情がある場合において必要があると認めるときは、使用料の減免又は徴収の猶予をすることができる。				
		利用料金制度		有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>		
施設運営 方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接運営					
	指定管理者制度		指定管理者			
	一部委託		委託内容			
直接従事職員	下田市職員数 0人(事務的職務をのぞいたため) 委託団体職員数					
9 市内の 類似施設	下田市所有					
	民間所有		民営駐車場			

平成20年度	施設名(愛称名)	大沢市営住宅駐車場	番号	76
--------	----------	-----------	----	----

10 取得費等の情報 (単位:円)	取得費及び財源内訳		平成19年度末残高			(備考) 減価償却の方法 ・定額法 ・残存価格1円 ・新設翌年度から償却 ・耐用年数 10年 (~h181231)
	土地取得費		土地残高			
	建物取得費		建物減価償却後残高	1円		
	財源内訳					
	国・県支出金					
	市債		市債残高	0		
	一般財源					
	寄附金等					
物品(*万円以上)			物品減価償却後残高			
11 年間経費等推移 (単位:円)	区 分		H17年度決算	H18年度決算	H19年度決算	H20年度予算
	収入	駐車場使用料	1,204,000	1,233,000	1,093,600	1,188,000
		駐車場(過年度)	0	0	0	49,800
	収入合計		1,204,000	1,233,000	1,093,600	1,237,800
	支出	1節 報酬	56,000	0	0	0
		7節 賃金	0	0	0	0
		9節 旅費	14,664	0	0	0
		11節 需用費	883,661	0	0	0
		12節 役務費	336,017	0	0	0
		13節 委託料	89,250	0	0	0
		14節 使用料及び賃借料	8,656,600	0	0	0
		16節 原材料費	2,835	0	0	0
		19節 負担金補助及び交付金	78,000	0	0	0
	支出合計		10,117,027	0	0	0
	人件費(市職員)		691,424	0	0	0
	減価償却費					
	市債利子					
	下田市負担年間総経費		10,808,451	0	0	11,443,000
備考		人件費は、建設課平均額に実質勤務割合を乗じた値				
12 施設利用状況等の推移	利用状況	利用年度	H17年度決算	H18年度決算	H19年度決算	H20年度
		利用区画	35区画	35区画	35区画	33区画
		参考:利用単位		0	0	0
		当たり市負担額	算出方法:11欄の「下田市負担年間総経費」÷利用区画数			
	休館日	なし				
使用時間	制限なし					
13 利用者満足度調査	実施の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		調査結果		
	直近の実施時期					
	調査手法					
	調査数					

平成20年度	施設名(愛称名)	大沢市営住宅駐車場	番号	76
--------	----------	-----------	----	----

業績評価

1 目標達成度

目標達成度	区分	単位	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
	利用区画の目標値	区画	36	36	36	36
	〃の実績	区画	35	35	35	
	目標達成度	%	97	97	97	
選択した指標	成果指標					
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の代替指標					
指標選択の理由	目標達成度を選定する指標として同指標を選択した理由					
指標設定の考え方	区分	指標名	指標の考え方			
	成果指標					
	代替指標					

(参考)

活動指標(施設の目的を達成するための具体的な手段におけるそれぞれの達成度合を把握できる指標)

活動指標			区分	単位	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
活動指標	目標指標		目標値					
			実績値					
			達成度					
	目標指標の考え方							
活動指標	目標指標		目標値					
			実績値					
			達成度					
	目標指標の考え方							
活動指標	目標指標		目標値					
			実績値					
			達成度					
	目標指標の考え方							

平成20年度

施設名(愛称名) 大沢市営住宅駐車場

番号 76

2 効率性

効率性	区分	説明	単位	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
	施設の利用区画数等		区画	35区画	35区画	35区画	33区画
	年間経費	施設の事業費・運営費および人件費の合計額	円	円 688,968			
	利用単位当たり経費	÷	円/画	円/画 19,684	円/画	円/画	円/画
11欄の「支出合計」の額を転記記載する。							
総利用者数等の考え方 施設の総利用総数等について用いた指標について記載してください。	年間の利用区画	備考 コスト評価項目に関して留意事項、補足項目等があれば記載してください。	施設の運営経費として駐車場使用料納付書の印刷製本費と職員人件費の0.1人工を足したものとした。(平成17年度のみ)				
その他の指標							
目標指数	目標指数	区分	単位	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
		目標値					
		実績値					
達成度							
目標指数の考え方							
目標指数	目標指数	目標値					
		実績値					
		達成度					
目標指数の考え方							
目標指数	目標指数	目標値					
		実績値					
		達成度					
目標指数の考え方							

受益者負担の適正性	区分	説明	単位	H17年度	H18年度	H19年度
	有料部分の年間経費	使用料等を徴収する部分の年間経費	円	696,867	0	0
	受益者負担額	使用料等の年間総額	円	1,204,000	1,233,000	1,093,600
	受益者負担比率	÷	%	172		
	補正受益者負担額	減免者より正規の料金を徴収したと仮定した場合の受益者負担額	円			
補正受益者負担比率	÷	%				

平成20年度	施設名(愛称名)	大沢市営住宅駐車場	番号	76
--------	----------	-----------	----	----

施設の現状分析

判断視点		項目	施設の状況
施設方向性の判断視点	施設の設置目的が時代のニーズに適合しているか	設置目的に沿った利用がされているか	概ね設置目的に沿った利用がされている。
		住民の福祉の向上に対し、どのように寄与しているか	低廉な使用料で使用してもらい、生活の安定を供給している。
		将来に亘り必要な施設として住民の期待を高めているか	大沢住宅入居者が使用し、大沢住宅は今後も維持管理していくので将来にわたり必要な施設と考えている。
	施設が十分に利用されているか	施設の修繕計画はどうか	入居開始から10年あまりが経過しているが、駐車場について特に修繕の計画は定めていない。
		施設の運営方法と利用者の情報交換はどのようにされてきたのか	随時各入居者から利用希望をとる形式。
	施設の管理運営主体が施設の利用目的から判断して適切であるか	同様の施設の設置がされているなど競合していないか	入居者の使用のみ認めている形式なので、競合はない。
		民間においても十分可能な施設なのか	可能ではある。
	使用料、利用者数、支出額、市負担額が適正であるか	使用料の算定に当たり実費経費と住民福祉の向上の比較はどうか	
		同種施設との比較、近隣施設と比較してどうか	低廉な使用料である。
		計画上の利用者数と実際の利用者数の違いがどうか	実際の利用者数が計画の利用者数に満たない。
施設の耐用年数は何年有るのか			
行政規模からの判断視点	施設の管理運営に係る経費が財政規模からして適正か	施設の管理運営の経費支出が下田市の行政経営からして妥当なのか	妥当と思われる
		現行の管理運営を今後も継続していくことが適切か	適切である。
	地域的な施設配置のバランスは適正か	旧町村単位における施設配置の見直しはされているのか	特にされていない
	施設の統廃合が可能な施設はないのか	施設統合が出来る施設の組み合わせは有るのか	なし。
		老朽化と施設維持の比較から改築廃止をどう考えていくのか	継続して維持管理していくことが必要と思われる。
		地域、民間に譲渡できないのか	大沢住宅とセットと考えているので困難と思われる。
		施設の目的の範囲を拡大することにより統廃合可能にならないか	代替可能な施設がなく、統廃合は不可能
	その他		

平成20年度

施設名(愛称名) 大沢市営住宅駐車場

番号 76

見直しの方策

評価種別		改善・見直しの方策案
市民と行政の役割分担評価	行政関与の妥当性	本施設は市営大沢住宅の付随施設であり、駐車場単独で考えることはできないと思われるが、大沢住宅とのセットで検討していく必要はある。
	受益者負担の妥当性	駐車場使用料(3,000円/月)は妥当と思われる。
	実施主体の妥当性	実施事業としては特にないが、実施主体としては入居者が生活しやすい住環境を形成していくことが求められる。維持管理の面では指定管理者制度を導入している市もある。
	廃止・休止・縮小・外部委託化・民営化などの方向性	この駐車場については大沢住宅とセットで今後も維持管理していく方針である。指定管理者制度の導入については設備及び修繕箇所、個人情報の観点から難しい面もあると思われる。
業績評価	利用者数等の目標数値及び利用者向上策など	利用できる区画は36台分あるが、年間約1台分空いてしまうような状態である。基本目標として常に36台使われているのが理想だが、入居者の自動車利用次第でもあるので困難な面もある。
	執行方法の見直しなどの効率化のための目標及び方策	実施主体から入居者に向けて駐車場利用を積極的に呼びかける。
	受益者負担の現状及び適正化のための方策など	駐車場使用料(3,000円/月)は変更する予定はないが、周辺の類似施設の状況を把握しながら検討していく必要はあると思われる。
調査等	市民アンケート調査等の結果	なし
サービス面等	サービスの迅速性や利便性など	とくになし
	利用者満足度の観点からのサービス提供の質の改善方法	とくになし

平成19年度事業内容及び見直し事項

事業内容	市の事業ではないが、平成19年9月に駐車場裏の斜面が崩落し、車両2台に被害発生。今後の安全対策として急傾斜地崩壊対策事業を申請し、早ければ平成20年度より工事着手予定。
見直し事項	特になし

平成20年度	施設名(愛称名)	大沢市営住宅駐車場	番号	76
--------	----------	-----------	----	----

施設懸案事項

No.	懸案事項	改善経費	備考
1	施設南側の山からの倒木対策	調査済	平成20年度より県事業
2	区画線の塗りなおし	未調査	
3	急傾斜地崩壊対策事業による駐車場縮小の対策		
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

今後の方向性

今後の方向性	充実 効率化等による見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続等 縮小等による見直し 統廃合を進める	(具体的な内容) 大沢住宅とセットで考えていくが、市営住宅の中でも人気は高く、新しい住宅のため今後も維持管理していく方針。 駐車場裏山に対する静岡県の急傾斜地崩壊対策事業が平成20年度から行われるが、工事中の駐車場管理及び面積縮小への対応が必要になる可能性あり。
--------	--	---